

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	993.00	2022/12/19
High	1034.50	2022/12/23
Low	973.25	2022/12/19
Close	1026.30	2022/12/23

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	4349.00	2022/12/19
High	4423.00	2022/12/19
Low	4144.00	2022/12/23
Close	4382.00	2022/12/23

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	1724.80	2022/12/19
High	1757.38	2022/12/23
Low	1652.80	2022/12/23
Close	1754.39	2022/12/23

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	7555.00	2022/12/19
High	7635.00	2022/12/19
Low	7048.00	2022/12/23
Close	7491.00	2022/12/23



ニュースエクスプレス

第3四半期のプラチナ宝飾品需要は玉石混交

「Platinum Jewellery Business Review」によると、第3四半期のプラチナ宝飾品の需要は、米国と中国では前年同期比でマイナスだったが、インドと日本では増加となるなど、玉石混交となった。

インドでは祝日の買い物と、的を絞ったキャンペーンやプロモーションのおかげで、前年同期比で35%の増加となった。

具体的には、店舗への客足が増えたのと、二年ぶりに「Platinum Buyer Seller Meet 2022」が開催され、結婚式と祝日シーズンの売り上げ増に貢献したことで、小売が需要増に合わせて在庫を増やしたため、プラチナ宝飾品製造に活気が戻った。

プラチナ・ギルド・インターナショナル (PGI) によると、トレーニングとターゲット客層を定めたマーケティングキャンペーンを通じてプラチナブランドをアピールする戦略によって小売が潤い、コロナ禍に影響を受けた二年間、国際関係の緊張や世界経済の悪化にもかかわらず、プラチナの需要が支えられた。

米国のプラチナ宝飾品販売は、昨年の第3四半期の高い水準から減ったが、2019年のレベルよりは高く、2022年は好調のうちに終わるだろう。

日本のプラチナ宝飾品販売は前年同期比で4.7%伸び、6期連続で前期を超える期間が続いている。PGIによると、コロナ感染対策が終了し、国内の中間層がショッピングモールや百貨店に戻ったことで需要増となったとしている。

一方PGIの報告によると、中国ではコロナ感染者数が9月になって増えたことが宝飾品セクターの夏期の回復を直撃し、パートナー各社の第3四半期の小売は前年同期比でマイナス16%となった。

https://www.miningweekly.com/article/mixed-performance-for-platinum-jewellery-demand-in-the-third-quarter-2022-12-19/rep_id:3650

ノリリスクニッケル、2022年のパラジウムの供給不足18.7トンと予測

ノリリスクニッケルは、欧州の買い手がロシアからの供給を受け入れず、また供給余剰の可能性もあることから、来年のニッケル生産を約10%削減することを思案中。

同社は世界のニッケル市場の約1割をコントロールし、今年の生産目標を20万5000～21万5000トンとしていた。正式発表前であるため、匿名による関係筋によると同社から既に減産の打診を受けた顧客もいるとのこと。

1割の生産カットは、ノリリスクニッケルの主要2鉱山が洪水被害に見舞われた2021年の生産水準に近くなる。(ノリリスクニッケルのコメントは得られていない。)

米国はノリリスクニッケルの大株主 Vladimir Potanin に対する経済制裁を課しているが、ノリリスクニッケル自体は制裁の対象ではない。しかしウクライナの戦争によって、物流、保健、海運に影響を受けている。さらにフィンランドの国営鉄道会社が12月末にロシアからの陸路を停止するため、ノリリスクニッケルはハルヤバルタの同社ユニットまで別の供給ルートを探す必要に迫られている。

供給がタイトになれば、ロンドンメタル取引所のニッケル先物のボラティリティが増す可能性がある。今年の価格は40%上昇しているが、3月の前例のないショートスクイーズ以来、低いリクイディティに悩まされている。さらに最近の大きな価格の変動で、グローバルベンチマークとしての実効性を疑問視する向きもある。

ロンドンメタル取引所のニッケル価格は最新の情勢に反応して、12月20日午後3時16分までに7.1%上昇したが、同日の高値を下回った。

<https://www.mining.com/web/nornickel-mulls-cutting-output-10-next-year/>

Translated by Osawa KAZUKO



@wpicjapan

免責事項: 本資料は情報提供に過ぎず、WPICの投資提案を意図するものではなく、また、そのように解釈されるべきでもありません。